

MonoStream 500

▲ Mono ▲ Inkjet ▲ Z fold ▲ Roll paper



収益性を考えると、 自ずと選ばれる一台がある。

生産財として、どうすればより多くの利益を上げられるか。

突き詰めて考えると、一番の課題はランニングコスト。

そこでたどり着いた答えが、インクジェット方式でした。

また、収益性を追求する一方で、

現在の環境から違和感なく移行できることも重要です。

1,200dpi×1,200dpiの高解像度と80m/分の印刷スピードを実現。

高品質と高生産性を両立しながら既存データを活用するなど

資産の有効活用にもこだわりました。

そして、前後処理機との接続や、ツイン化対応などの拡張性は、

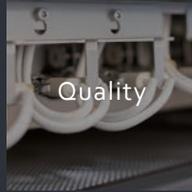
新たな市場における可能性の大きさをも意味しています。

既存ビジネスの効率化のみならず、業務領域の拡大にも一役買える。

これが、最善の選択肢。MonoStream 500。



品質と 生産性を両立

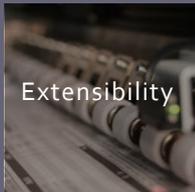


1,200dpi×1,200dpi高画質

新顔料インク

IRヒーター

業務拡大 にも対応



Type1インターフェイス搭載

ツイン対応

作業負荷を 大きく削減



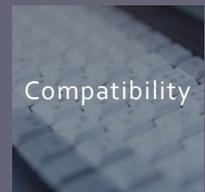
バックフィード機能

オートローディング機能

22インチオペレーターパネル

フロントサイドメンテナンス

既存設備からの 移行も容易

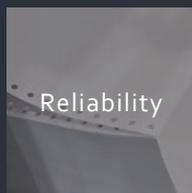


コンパクト設計

印刷ジョブ管理サーバー

SX印刷資産用オプションモジュール

トラブルは 未然に防ぐ



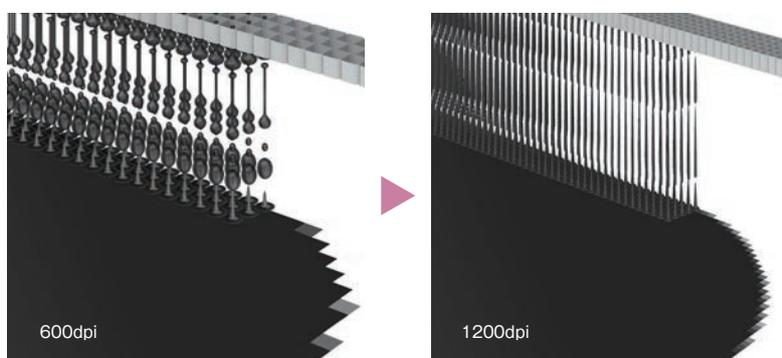
検査装置標準装備

1,200dpi×1,200dpiの高解像度と

80m/分の印刷スピードを両立。

高生産性を維持しながら高品質プリントを実現。

○ 1,200dpi×1,200dpi 高解像度インクジェットヘッド
細かな文字やバーコードを忠実に再現



※図はイメージです。

極小文字やバーコードなどの細線を忠実に再現できなければ、ビジネスの信頼は損なわれます。細かく均一なインク吐出で1,200dpi×1,200dpiの高画質を実現した印刷品質は、クライアントからの信頼性を高め、これまでのインクジェットに対するイメージを払拭します。

○ IRヒーター
優れた用紙対応力を実現

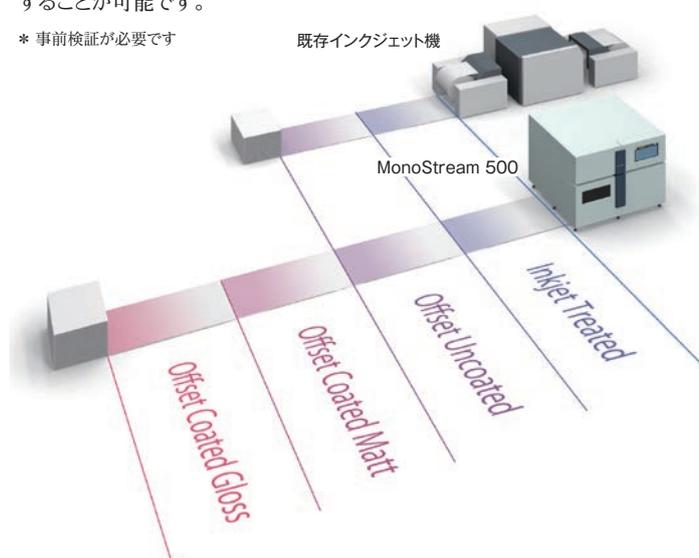
インクの定着には、熱源を直接用紙に接触させずに赤外線ヒーターを通過させる非接触の定着方式を採用。新たに開発した新顔料インクとの組み合わせにより、従来は印刷することのできなかった紙種も含め、さまざまな用紙に最適な温度設定で印刷することが可能になりました。優れた用紙対応力の実現により、事業領域はますます広がります。



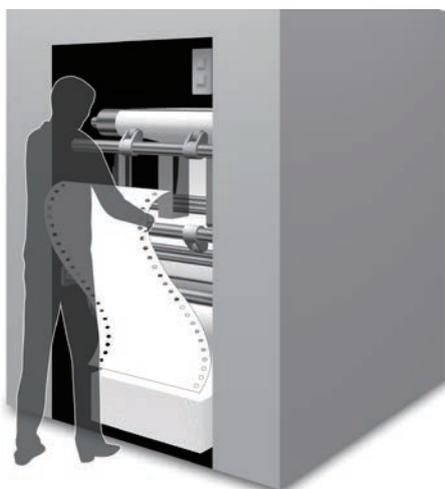
○ 新顔料インク
オフセットコート紙や圧着紙など多彩な用紙に対応

受注できる仕事の幅は、対应用紙次第といっても過言ではありません。用紙対応力の向上は、事業領域の拡大を意味します。新顔料インクの開発で、圧着紙やオフセット印刷本紙*にも下地処理を施すことなく印刷することが可能です。

* 事前検証が必要です



Z紙のオートローディング機能など、
シンプルなオペレーションで
ショートランにすばやく対応。



○ オートローディング機能 Z紙のかけ替えを簡易化

一日に何度も発生する用紙のかけ替え作業は、生産性に大きく影響します。Z紙かけ替え作業を簡易化するオートローディング機能を搭載しているため、用紙をピンに合わせてロードボタンを押すだけで自動セット。より正確かつスピーディーなかけ替えを実現します。

○ フロントサイドメンテナンス オペレーター業務を軽減

定期的な発生する消耗品交換やプリントヘッド清掃などのメンテナンス作業をフロント部分に集約。フロントドアを開ければおおよその状態が見渡せる構造で、オペレーターの作業負担を極限まで軽減しました。



プリントヘッド清掃



○ 22インチ大型オペレーターパネル 簡単なオペレーション

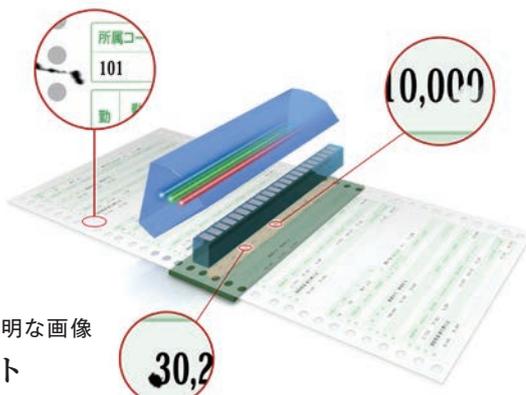
タッチパネルでミスなく操作できる大型22インチのオペレーターパネルは、機器本体の設定だけでなく、検査装置のセットアップや実行などの設定が可能です。オペレーターパネルを一本化することで、より効率のよいオペレーションを可能にしました。

クライアントから高い信頼を獲得。
トラブルを未然に防ぎ、

検査装置標準装備 印刷内容の積極的な検査を実施、高い信頼性を提供

印刷物の価値向上には、印刷品質および印刷内容の監視が重要です。標準装備のVidek, Inc.製の検査装置はその二つを検査*し、結果の記録とレポート機能を提供。検査項目の設定はプリンター本体の印刷ジョブ設定と連動し、オペレーター操作を軽減します。

* ピットマップ検査はオプションです
* 検査装置無し構成も可能です



コンタクトイメージセンサー(CIS)による鮮明な画像 プリンターに内蔵された撮影ユニット

検査装置の撮影ユニットには、キヤノン・コンポーネンツ(株)が開発・生産するコンタクトイメージセンサーを採用。LED光源やレンズアレー、ラインセンサーがそれぞれ一列に並び、各画素を1対1で読み込むため、端部まで歪みのない鮮明な検査用画像*が得られます。また一般的なカメラと比較し、レンズや専用の用紙搬送部も不要となり、大幅な小型・軽量化を実現しました。 * 撮影画像はモノクロです

Type1インターフェイス搭載 前後処理機と簡単に接続

インクジェットシステムの拡張性は、業務範囲の拡大に必要な機能です。標準搭載のType1インターフェイスは、Roll to RollやRoll to Foldなどさまざまな構成に対応する前後処理機とのインラインシステム構築を容易なものとしします。

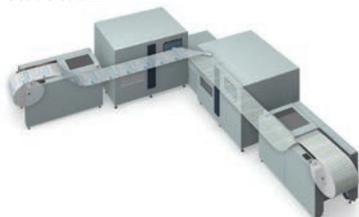


前後処理機との柔軟な連携で、
業務範囲を拡大。

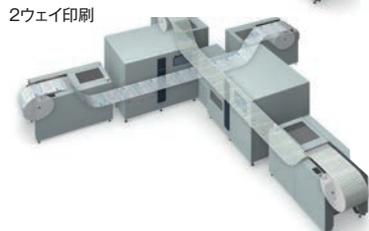
ツイン対応 ツイン化で両面印刷に対応

両面印刷を可能とするツイン対応*1は、既存の追い刷り印刷業務に加え、コート紙を活用したダイレクトメールや書籍印刷などビジネス領域が広がります。 *1 Z紙は非対応です

両面印刷L型



2ウェイ印刷



Z片面印刷

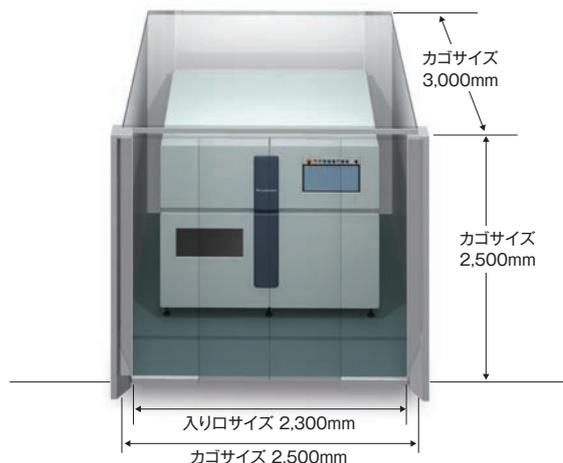


両面印刷I型

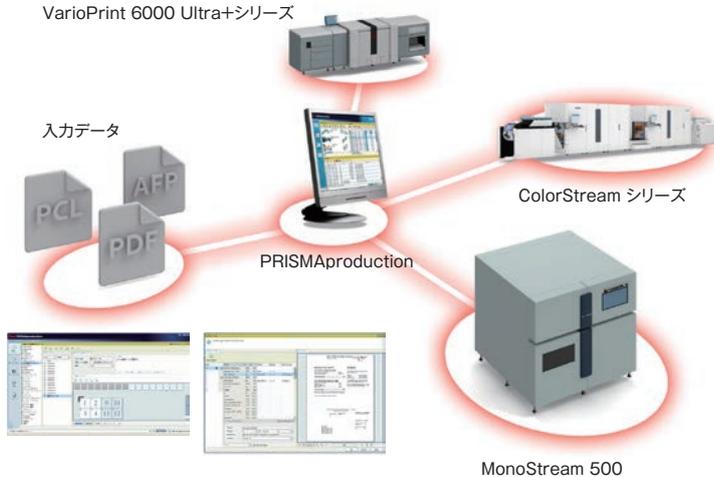
現在のシステム環境に合わせて
柔軟に導入・活用でき、
既存機からの移行もスムーズ。

コンパクト設計 本体設置面積をコンパクト化

設置場所への導線は、機器導入時のポイントです。コントローラーを本体に内蔵するなど、日本の標準的な貨物用エレベーターの積載サイズを考慮して設計した筐体で、本体設置面積のコンパクト化を実現しました。



VarioPrint 6000 Ultra+シリーズ



印刷ジョブ管理サーバー 複数のデジタル印刷機を 1台のサーバーで管理

PRISMAproductionは、印刷業務の生産性を大きく左右する面付けや加工機用マークの挿入が直感的に行える高い生産性とシステム拡張性を持つデジタル印刷ワークフロー管理システムです。

AFP/PDF/PostScript/PCLなどさまざまな印刷用データフォーマットを統合管理し、複数のデジタル印刷機*を制御することが可能です。

* キヤノンプリンターに対応しています。対応機種は、お問い合わせください。

SX印刷資産用 PRISMAproduction オプションモジュール SXシリーズから簡単に移行

SXシリーズで運用している印刷資産を活用できるオプションモジュールにより、既存業務がスムーズに移行可能です。既存のSX印刷資産にインデックス、バーコード、イメージ、ページ番号追加、ページシフトなどの情報を付加加工することが可能です。



◆ MonoStream 500 主な仕様

名称	MonoStream 500 Single (片面 Z 紙/ロール紙)		MonoStream 500 Twin (両面 ロール紙)	
技術				
印刷方式	ピエゾ式インクジェット モノクロ			
インク種類	水性顔料			
オペレーション	グラフィカル・ユーザー・インターフェース (22インチ大型タッチパネル搭載)			
用紙搬送	Z紙	ピントラクター、タイトウェブ 給排紙部の最大スタック高さ320mm オートローディング/バックフィード機構搭載	-	
	ロール紙	ピンレス、タイトウェブ		
解像度	1,200dpi×1,200dpi			
印刷速度<A4ページ/分>	片面2-up : 538ページ		両面2-up : 1,076ページ	
搬送速度<毎分>	80m (262フィート)			
用紙				
用紙幅	Z紙	6.5~19.5インチ (165~495.3mm)	-	
	ロール紙	6.5~20.5インチ (165~520.7mm)		
印刷幅	Z紙	最大18.5インチ (469.9mm)	-	
	ロール紙	最大20.0インチ (508.0mm)	加工有り: 最大19.5インチ (495.3mm) 加工無し: <用紙幅20.0インチ>最大20.0インチ (508.0mm) <用紙幅20.5インチ>最大19.5インチ (495.3mm)	
Z紙運用時の折り(天地)サイズ	7~14インチ (この間0.5インチ単位)		-	
印刷ページ長	最小3インチ			
用紙坪量 *1	Z紙	64~157g/m ²	-	
	ロール紙	47~157g/m ²		
用紙種類 *2	Z紙	上質紙、インクジェット紙、プレプリント用紙、リサイクル用紙、コート紙、トナー/IJ圧着紙、その他	-	
	ロール紙	上質紙、インクジェット紙、プレプリント用紙、リサイクル用紙、コート紙、トナー/IJ圧着紙、ノーカーボン紙、その他		
用紙形状 *3	Z紙	トラクターホール加工用紙 (ミシン目加工有)	-	
	ロール紙	トラクターホール加工用紙 (ミシン目加工有/無)、トラクターホール加工無し用紙 (ミシン目加工無)、事前印刷用紙 (トラクターホール加工用紙 (ミシン目加工有/無)、トラクターホール加工無し用紙 (ミシン目加工有/無))		
寸法・質量 (1タワーあたり、SRAコントローラー含む、オプション除く)				
本体寸法 (幅×奥行)	1,900×1,600mm			
本体高さ	1,910mm			
質量 (用紙含まず)	2,300kg			
設備環境 (1タワーあたり、SRAコントローラー含む、オプション除く)				
温度	最適範囲20~26℃			
湿度	最適範囲30~60%			
動作ノイズ	80dB以下			
電源 (1タワーあたり、SRAコントローラー含む、オプション除く)				
電源	200V、3相、150A (検査装置 : 100V、単相、15A)			
周波数	50Hz/60Hz併用			
消費電力 (1タワーあたり、SRAコントローラー含む、オプション除く)				
皮相電力	制御時 36kVA、非制御時 1.6kVA			
ワークフロー				
コントローラー	SRA MP コントローラー			
対応データフォーマット	SSDS *4、AFP/IPDS (IS/3)、PDF (APPE3.X) *4、PCL 6 *4			
印刷管理ツール (オプション)	PRISMAproduction®			
接続形式	ギガビットイーサネット			

- *1 この範囲以外の用紙は事前にテストが必要です。
 *2 事前にテストが必要です。用紙種類、印字データによっては速度や印字濃度を調整する場合があります。また、ロール紙運用時には給紙/巻き取り装置の接続が必要です。
 *3 ミシン目付近の印刷に制限があります。また、マーク類によって印刷禁止領域が発生する場合があります。事前印刷ならびにミシン目同期には事前印刷マーク、トラクターホールが必要です。
 *4 PRISMAproductionが必要です。

●製品改良のため予告なく変更を行うことがあります。記載の内容は2018年2月現在のものです。●保守サービスの方式、料金等、詳細については担当セールスにお問い合わせ下さい。●保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)
 ●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●その他の国における登録商標です。●本カタログに記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●本カタログ内の画面は、ハメコミ合成です。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

Home Page MonoStream ホームページ
www.canon-pps.co.jp/monostream

●お求めは信用のある当店で